

# しゅが 珠芽を利用したにんにくの種苗生産技術

野菜研究所

にんにくは主にりん片で増殖しますが、「福地ホワイト」の増殖率は4~6倍と極めて低いです。そこで、にんにくの茎の先端に着生する珠芽を利用した栽培が増えています。しかし、珠芽はりん片に比べて小さく、慣行の栽培法では収量が少ないため、より肥大を促進する生産技術を開発しました。

## 珠芽について

構造はりん片と同様で植えるとりん球ができます



りん片(10g)(左)と珠芽(1g)(右)

りん球の中にりん片が入っています



収穫時のにんにく

## 技術のポイント

### 珠芽の準備

- 健全なにんにくから、収穫直後に採取します。
- りん球と同様に乾燥し、保管します。
- なるべく大きい珠芽を使います。

### 休眠打破処理

- 植付け前に5℃で2週間低温処理を行います。

### ほ場の準備・施肥・植付け

- 追肥体系とし、基肥は窒素成分で20kg/10a、追肥は3月中旬から4月上旬に窒素成分で5kg/10a行います。
- マルチは透明を用います。
- 植付けは9月上~中旬に行い、深さは5~7cmとします。

### トンネル被覆期間および資材

- 生育を促進させるため、10月下旬~積雪前までは不織布でトンネル被覆します。

## 技術を活用した結果

試験区	球径 (mm)	球重 (g)	りん片数 (片/球)	りん片重 (g/片)	収量 (kg/10a)
追肥体系+不織布被覆	53.8	46.6	5.0	9.1	691
全量基肥体系+無被覆	49.7	38.5	5.1	7.5	570

注)平成29年産の試験結果。種子珠芽重は1.0~1.5g。植付前に低温処理を行いました。透明マルチ、トンネル被覆は秋期に行いました。追肥は4月10日に行いました。

本技術の活用により、珠芽からも種苗が生産でき、効率的な種子増殖が可能になります

詳しくは平成30年度指導参考資料「珠芽を利用したにんにくの種苗生産技術」  
<https://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/nourin/nosui/files/H30y5.pdf>を参考にして下さい

お問い合わせ 野菜研究所 栽培部 (TEL 0176-53-7171)